

第 37 回 コンパス薬局藤沢 スキルアップ勉強会

2017.7.4 作成者細川 亜希子

『喘息治療配合剤 レルベア』

(株) グラクソスミスクライン 松下 哲也さん

場所：コンパス薬局藤沢

参加者：沢 丞先生、職員さん、薦田 麻利子、細川 亜希子

気管支喘息の患者さんは、その症状を理由に生活に不自由を感じる事が多く、喘息患者さんへの“喘息がなかったらしたいこと”のアンケート結果によると、70%以上が“行きたいところに行ける事”を望んでいるとのデータがある。患者さんに健常人と変わらない日常生活にできるだけ近づいてもらえる指導ができるように、今回は喘息治療配合剤の「レルベア」について学んだ。

【適応】

気管支喘息

【用法・用量】

通常、成人にはレルベア 100 エリプタ 1 吸入を 1 日 1 回

【禁忌】

- (1) 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者
- (2) 有効な抗菌剤の存在しない感染症、深在性真菌症の患者
(ステロイドの作用により症状を増悪させる恐れがある)

【副作用】

重大な副作用) アナフィラキシー反応

その他の副作用) 口腔内カンジダ症、発声障害

【特徴】

- ・ 1 日 1 回、操作が 1 ステップで簡単である
- ・ 吸入 5 分で 80% の気管支拡張率
- ・ FP (アドエア) と比べて 1.7 倍の受容体親和性
- ・ 副作用の発声障害がアドエア (6%) と比べて少ない (1.9%)

【考察】吸入薬においては、良い薬が開発されても、吸入デバイスの操作が難しいだけでCPが下がり、その効果が発揮できないという問題が起こりうる。

また、ステロイド吸入の副作用である発声障害の発生率は吸入の暴露回数と比例して増かすることが確認されている。

今回は操作が簡単なデバイスであり、作用時間が長くなったことで、吸入回数を減らす事が可能になり、喘息患者において更なるQOLの向上が期待できる。